

透析施設の経営の動向

——小規模透析施設の危機と診療報酬点数の推移および日本透析医会の活動——

隈 博政

平成 23 年 4 月 2 日/北海道「北海道透析医会・札幌市透析医会合同講演会」

1 透析医療の現況と問題点および透析難民の発生

透析導入患者数は 2015～2020 年をピークに減少すると予想され、問題点として、派遣医師の不足による透析室の閉鎖や縮小、経営困難による透析施設の閉鎖、スタッフ数の相対的減少、透析医療費の急激な低下などがある。すでに一部の地方では透析提供体制が破綻し、2009 年には福井県における「透析難民」に関する新聞記事が出た。

2 中央社会保険医療協議会などでの誤解

しかし、依然として透析医療の収益が良いと誤解されている。2009 年、中央社会保険医療協議会（中医協）のコスト調査分科会での資料で、透析部門の医業収益の 27% が収支差額であると誤解されていた。日本透析医会（日透医）は、この調査方法が診療報酬請求書でなされ、外来透析では医療材料・薬剤費（EPO 製剤や透析液、抗凝固薬等）や検査費（慢性透析患者外来医学管理料；慢透と略）が包括点数であり経費として計上されないこと、調査対象病院が DPC 対象病院と DPC 準備病院であり、多忙な勤務医の人件費が透析室に滞在する時間での按分により過小評価されていることを突き止め、厚生労働省に指摘した。

3 小施設における危機

——経営シミュレーションでの推測

「エビデンスに基づく診療報酬改定」の必要性が強調されている。小施設が「不採算部門」であることを

具体的に示すために、外来血液透析を行う医療施設の開業（人工腎臓台数が 20 台）を想定した損益計算書およびキャッシュフロー計算書を、表計算ソフト「エクセル」を用いてシミュレーションし、患者数による収支の変化を調べた（詳細は、日本透析医会雑誌、Vol. 25, No. 3, 2010 に掲載）。

その結果、患者数 80 人未満の小施設は経営が困難であると推測される。小施設の経営は、公的病院では明らかに不採算部門であり、民間透析施設では医師の過重労働による人件費削減でかろうじて成り立っていると考えられる。

4 診療報酬点数の推移および平成 22 年度の診療報酬改定のポイント

1967 年から現在までの人工腎臓関連の診療報酬点数の推移をみると、日透医の活躍がよくわかる。人工腎臓技術料以外の差益の消失（ダイアライザー価格の極端な引き下げ等）が進むなか、日透医は透析患者の生命予後の改善につながる透析技術の向上普及をはかるため、技術料の様々な加算（導入期加算、水処理加算、休日加算、障害者加算、除水調節器加算）や時間区分設定を厚生労働省に要望してきた。

これらの加算のいくつかは、繰り返されるマイナス改定のたびに技術料に吸収され、透析医療の本質である技術料本体が極端に下げられることをある程度回避できた。慢透、EPO 包括、平成 22 年度の技術料ダウンと透析液水質確保加算の関係も同様である。平成 22 年度の改定では日透医を始め日本透析医学会、日

本臨床工学技士会、全国腎臓病協議会などの要望が実現し、on-line HDFの認可、慢性維持透析の評価体系の見直し、在宅血液透析・在宅腹膜透析の評価引き上げ、手術料・手技料の引き上げがなされた。

5 日本透析医会の活動

日透医は公益法人化を目指して組織改組を行っているが、そのうちのいくつかを紹介する。

適正透析療法委員会の適正医療経済部会が、上述した診療報酬改定に対応した活動を行っている。医療安全対策委員会の災害時透析医療対策部会は、今回の東日本大震災でわかるように、インターネットを通じた情報網（災害情報メーリングリスト、災害対策メーリングリスト）を駆使して情報の共有化をはかり、全国の各支部から寄付を募り、支援金や物資の提供、透析スタッフのボランティア派遣を行った（日本透析医会雑誌、Vol. 26, No. 2, 2011に詳述されている）。講演

では、東日本大震災直後でもあったことから、その時点で把握していた被災状況および対策を説明し、北海道・札幌透析医会の活躍について謝辞を述べた。

感染症対策部会では、「透析医療における標準的な透析操作と院内感染予防に関するマニュアル」や「透析施設における新型インフルエンザ対策ガイドライン」、「HIV感染患者透析医療ガイドライン」を作成した。医療事故対策部会は「透析医療事故のための標準的透析操作マニュアル」を作成した。他にも、合併症対策委員会の合併症対策シリーズ刊行、研修委員会のシンポジウム（コンセンサスカンファレンス）とカレントトピックスセミナーの開催、公募研究への助成、支部開催の特別講演に対する助成などがあげられる。

6 最後に

以上のような日透医の役割を理解していただいたうえで、未入会の医師に入会を勧めた。

* * *